

佳作

地球は人間だけの世界ではない

赤坂小学校 小谷 夏子

生き物といわれて、何を想像しますか。生き物とは動物と植物のことです。生き物は私達の身近に存在します。公園や街の木々、チョウやトンボなどの昆虫です。

しかし、人間の技術が進歩していくにつれて、生き物が減っているのです。もうすでに、人間のせいで絶滅してしまっている動物もいます。地球上にあと数頭、数羽しかない動物も少なくありません。そんな変化は都会にいたらあまり気がつかないと思います。テレビできいたり、調べたりして知るのでしよう。

日本の工業が急激に発展していったころ、日本は環境にあまり配慮せずに、工場でいらなくなった有害な物質を川や海に捨てていました。家庭では洗剤を大量に川や海に捨てていました。当たり前の事かもしれませんが、そんな日が続くにつれて、川や海はよごれてしまいました。

今まできれいな、川や海に住んでいた魚達は、きたない川や海には住めません。なので魚達はどんどん姿を消していきました。これこそ人間のせい、です。

そこで、川や海をきれいにする活動が行われています。そして、いなくなってしまうたはずの魚達もどってきて、

かつてのきれいな川や海になった地域もあるのです。しかし、この時期に絶滅してしまった魚もたくさんいます。

人間のせいで、というのは山にもあります。人間が森の木を多く切ってしまったことからです。その切った木は、紙になったり建築材になったりします。森に建物を建てるために切ったりもしています。地球が長い年月を経て作った森の木を簡単に切っているのです。

木が少なくなると人間にも被害がありますが、何もやっていない動物にも被害がおよびます。動物は自分の住む場所がなくなってしまうのです。

川や海をよごすと、魚がいなくなり、木を切りすぎると動物がいなくなります。世界はこのような事を経験しています。川や海を元にもどすのは大変だという事もです。

無駄に紙を使わないこと、きたないものを川や海に捨てないことなど簡単なことでよいのですから、私達人間が昔から共に過ごしてきた生き物にこれ以上迷惑をかけないで、生き物を大事にして、暮さなければいけないと思います。